



産土



彦島八幡宮社報
第53号

発行所 彦島八幡宮社務所
下関市彦島泊町五丁目十二番九号
TEL 083-266-0700
FAX 083-266-5911
題字 柴田 宜夫
編集者 山本 宜光



巻頭言

宮司 柴田 宜夫

宮司の柴田です。平素は、氏子崇敬者の皆様には、当八幡宮の奉護さらには、健全なる運営、祭典・行事等の齎行につきまして、格別のご配慮お力添えを賜り、心から感謝申し上げます。

大正時代に駐日大使をつとめたフランスの詩人グロデルさんは、「大津波、台風、火山の噴火、地震、大洪水などたえず何かの大災害にさらされた日本は、地球上の他のどの地域よりも危険な国であり、つねに警戒を怠ることのできない国である」と述べられました。実は、現在、日本は、大震災時代の真つただ中にあるそうです。

平成になって気象庁が命名した大地震は十四回、これほどの地震活性期は有史以来、数えるしかないそうです。しかも、活性期の終焉、ピリオドは、首都直下地震と南海トラフ地震の発生なのだそうです。しかしながら、大自然は、時には恐ろしい猛威を振りますし、我々人間を容赦なく苦しめます。

しかし、私たちを生かしてくれているのも、また、この大自然にほかなりません。「大量生産、大量消費、大量廃棄」の現代社会、「ないものねだり」から、「あるものさがし」、「成長社会」か

ら、「成熟社会」へ舵を切り、ありがたいという感謝の心と、おかげさまという謙虚な気持ちで支え合う、「共生社会」を目指したいものです。

備中松山藩(今の岡山県高梁市)の儒学者であつた山田方谷さんは、「至誠惻怛」が大切であると説かれました。人には、他の方々の悲しみ苦しみを慮る、よくよく考える、思いめぐらす、思いやる、誠の心が大事だと説かれたのです。震災のこと、神も仏もない災害を被災された方々のことを忘れない、「至誠惻怛」の心こそ、「共生社会」に必要不可欠で、これから、私共が大切にすべき、心掛けになるのではないのでしょうか。

その「至誠惻怛」の心を育むのが、八百五十年伝統の当宮の祭典行事の継続、次の世代への継承だと考えます。その継承の「資本」となるのが、「奉賛料」でございます。御出費御多端のりから、大変恐縮に存じ上げますが、皆様方の真心をお供えくださいますようお願い申し上げます。

御多幸御健勝を心からお祈り申し上げます。

奉賛料ご奉納のお願い

奉賛料は彦島全島の総氏神 彦島八幡宮の年中行事(神事祭礼)並びに神社の護持運営に使途されるものであります。ご賛同賜ることかありませんなら、ご祈願されます内容を念じつつ、奉賛料封筒にお気持ちご奉賛下さいますようお願い申し上げます。

ご住所ご芳名ご祈願内容を明記下さい。宮司以下神職が、年間を通し、毎朝ご神前にて、皆様方のご安全ご平安と併せ祈願成就をお祈り申し上げます。

毎年の事で大変恐縮且つ又、御出費御多端の折柄誠に御迷惑とは存じ上げますが、神社奉護の為格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

※ご奉賛の集納方法並びに時期は町内によって異なります。

※左記のご奉賛を賜りました方には、年末に新しい御札、曆をお届け致します。

二千円以上:

- 神宮大麻(伊勢の神宮さまの御札)
- 八幡大麻(彦島八幡宮の御札)
- 神社曆(日柄等の説明記載)

千円以上:

- 神宮大麻(伊勢の神宮さまの御札)
- 神社曆(日柄等の説明記載)



夏越祭

御神幸順路と到着予定時刻【7/30日】



本宮御参興 → 正面鳥居左折 → 下関三井化学内 → 三井化学前信号を直進 → 十二苗祖墳墓 → 卯月峠經由
8:05 8:10 8:15

本村四つ角を右折 → 後山ジョイフル彦島店裏側坂を上り進行 → みやぎ理容院を右折 → 南国マンション・
8:35

山口整形前交差点 → 県道を横断 江の浦2丁目坂を直進 → 関門トンネル上を右へ →

塩谷公園横を通過 福浦2町へ → 日ボリ産業前 → 山口三菱自動車角右折進行 → 日本歯科薬品前
8:40 8:45 8:50

→ 福浦橋を渡り塩浜へ → 塩浜町民館前 → サンデン彦島営業所内 → 大通りを進行向井町方面へ
9:05 9:20

→ 向井中央公園 → 山中町民館引き返し桜ヶ丘入口より峠を越し弟子待町方面へ → 弟子待町民館
9:30 9:45 10:10

→ 弟子待を出て弟子待保育園を下り左折 → 芳無田公園方向へ右折進行 → なかべ学院
10:30 10:45

→ 角倉町民館方向へ → 角倉公園 → 福浦口山口銀行前 → 杉田バス停信号を右に進行
11:00

→ 三菱至誠寮前を左に上り江の浦8丁目中通を進み県道に出て右折 → 菱重ファミリー&プロバティーズ隣西日本支社前
11:20

→ 三菱下船工場内 → 江の浦町民館 → サンセイ下関工場内
11:35 12:15 12:30

昼食（於、本村公会堂 TEL266-2219） 12:45～13:50

出発 → 老町 → 貴布禰神社階段下 → 海士郷恵比須神社前「漁協彦島支店にて海上渡御準備」出 船 ～
14:00 14:05 14:15 15:00

～～ 下関漁港内一周 ～～ 小戸口、彦島大橋下を抜け ～～ ヒコットランドマリナービーチ沖を通過 ～～

（西日本有数の御座船による“海上渡御”）

南風泊魚市場岸壁に上陸 → 魚市場前 漁協南風泊支店前 → 県道右折竹の子島に渡り前田造船所前引返し →
15:45 15:55 16:00 16:10

西山町自治会館 → 彦島製錬 → 県道右折進行 → 彦島八幡宮前通過 → キャボットジャパン引き返し
16:25 16:45 16:50

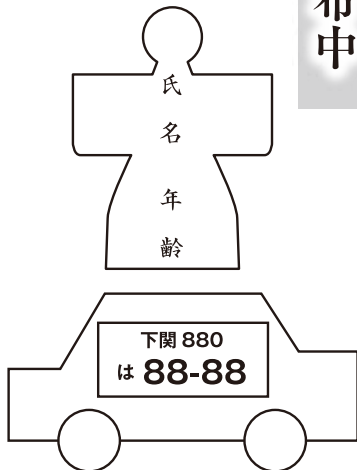
→ 荒田、絞バス停手前を左へ上り旧道を進行し県道を右へ → サンリブ彦島迫町店 → 本宮御還幸
17:00 17:20

_____：修祓（一旦停止）箇所 _____：お旅所（祭典、小休止）箇所

*注意：上記の時間は目安ですので、道路交通状況により多少前後いたしますことご了承ください。

人形に氏名・年齢・男女の別を記入（※車形の場合は、車のNo.プレートも記入）し、息を三回吹きかけ、分魂を宿らせます。こちらを夏越祭（七月二十九日）までに社務所までご持参下さい。

大祓人形 社務所にて頒布中



*平成29年お祝い（数え年）に該当の方は下記の通りです。

7歳	平成23年生	女子
5歳	平成25年生	男子
3歳	平成27年生	男子・女子



お守り、千歳飴、知恵おこし、お土産をご用意致して、ご参拝をお持ち申し上げます。

七五三参拝の御案内

6月	4日(日) 友引	*平成二十九年六月と十二月の戌の日は左記の通りです。
	16日(金) 友引	
	28日(水) 先負	
7月	10日(月) 先負	*平成二十九年六月と十二月の戌の日は左記の通りです。
	22日(土) 先負	
8月	3日(木) 大安	
	15日(火) 大安	
	27日(日) 赤口	
9月	8日(金) 赤口	
	20日(水) 友引	
10月	2日(月) 友引	
	14日(土) 友引	
	26日(木) 先負	
11月	7日(火) 先負	
	19日(日) 大安	
12月	1日(金) 大安	
	13日(水) 大安	
	25日(月) 赤口	

彦島八幡宮は別名『子安八幡』とも称され、安産の神様としても崇められております。ご持参頂いた腹帯（マタニティガードル）に当宮「安産守護」の御朱印を押印させていただきます。



安産祈願祭・腹帯清祓のご案内